

れんじし 連獅子とは

しし
「獅子は我が子を谷底に落とし、

は
這い上がって来た子だけを育てる」という伝説を基にした舞踊です。
ぶよう

しし もんじゅぼさつ
獅子は文殊菩薩の使いとされる想像上の動物。

もんじゅぼさつ せいりょうざん
文殊菩薩の浄土とされる中国の清涼山を舞台に、

きょうげんし
狂言師に扮した二人がこの伝説を舞い踊ります。

しし
後半では、二人は親子の獅子となり、

ししがしら
それぞれ白と赤の獅子頭で勇壮な毛振りを披露します。

子の成長を思い敢えて突き放す親獅子の姿が、

歌舞伎の道を極める厳しさと重なり感動を呼びます。